

# 磐城新報

發行日 五十五廿三回  
 白銀町十五番地  
 編輯兼發行人 印刷人  
 高木 喬  
 定額紙本 一部五錢一ヶ月  
 行三十錢廣告料一  
 定額紙本 一部五錢一ヶ月  
 行三十錢廣告料一

## 電燈料値下問題 比較對照して妥

### 大手を揮つて公盜する

#### 二本松電氣會社

## 罪惡史 (一)

◆コソ泥は法網にひつか、り吞舟の  
 ◆魚にも譬ひつきべき盜セキは逃る ◆

筆舌もつくせぬ暴利慾義憤の尖  
 鋭たるメスにより徹底的に解剖  
 し晒け出さん我利亡者の寄り合  
 を糾弾せよ!

東部電力の電燈料値下げ運動は、コソ泥である然かも二つ瀕がない、  
 動を日勞黨磐城支部で計劃本松電氣の需用者は農村及  
 中だこの事であるが誠に此海岸方面の無産級に最も多  
 の値下、各物價値下げ運動ののである、尙ほ筆舌にも  
 は我等一般民のためには結つくせぬ暴利慾、横暴專  
 構な事である、然し東部電氣極りなき二三の事實を上  
 力よりも先決して二本松電氣れば、動力の供給を受け  
 氣の値下げ運動を遂行するやうと思ひ會社に其の旨申  
 ことが順序である、同業し入れるとオイソレと早速  
 磐城經濟新報に發表されたは取り付けて呉ない、モ一  
 が誠に同感である、なぜなターがどうの動力線がどう  
 れば二本松電氣は、東部電氣のどぬかして在再日を曠し  
 力よりも其料金が高ばかうする、少し許りの資本を  
 りでなく燭力の弱いこと實もつて事業を始めやうとす  
 に驚くばかりで常に故障頻る小商工業者はそんな悠長  
 出し、需用者は何れも毎日な遣り方をされたのでは立

### 他の會社

製品よりも悪いことが往々  
 ある、こんな虫のよい話は  
 恐らく同會社以外ではホラ  
 カレない事であらう、  
 電力供給を受けるのだから  
 モーターや用具は何處の製  
 品だつてかまはんぢやない  
 か、安くて良いものならば  
 需用者はどれだけ利益を蒙  
 るか知れない、その利益を  
 無理矢理に遮つて迄自社の  
 腹を肥やさんとする醜劣厚  
 顔なる態度には三驚を喫せ  
 ぬ譯には行かない、三文商  
 人が五錢の品を七錢位に賣  
 りつづけると暴利を貪ると云  
 ふので其の筋が、夫なるお  
 目玉を頂戴する、然るに同  
 會社は如何なる暴利を貪つ  
 ても未だ嘗つて罰せられた  
 ことはないとか、

### 資本主義

經濟組織の現代に於てそれ  
 は止む得ない事であるとか  
 きらめやうとする向もある  
 やうだが斯る不公正不合理  
 なることは断じて許すべき  
 でない斯る偏頗なる處置、  
 態度を執るから國民思想上  
 にもいろいろ悲しむべき惡  
 種を撒布するのである、海  
 岸農村としての高久村豊間  
 村方面の女房連が今日一番  
 恐れてゐるのは何んである  
 かと詮策して見るにそれは  
 泥棒でもなければ政府の役  
 人でもない、同會社の集金

### 女房連が

此の一言によつて譯もなく  
 大々上る税金で差押へを  
 かけられるよりも尙且つ恥  
 ぢとする、だから事を惜  
 いても料金を調達する中に  
 は食ふ物も食はずに納める  
 者さへある、吾々斯る悲し  
 むべき彼も憎むべき實状を  
 目撃する時、一掬悲憤の涙  
 なきを得ないのである、今  
 日電燈は吾々生活必需品で  
 あるその必需品を僅かの料  
 金延滞から奪へ去らんとす  
 る如きはこれ明かに國民生  
 活に恐威を與へるものであ  
 る國民生活の安定を恐威す

### 攪乱者を

國家が放任して置くこと云  
 うは其の眞意那邊にある  
 か疑はざるを得ない、一配  
 電區域に數多の營業者を許  
 可せよと云ふことは言はな  
 い、けれ共事態今日の如く  
 横暴專恣極りなき時代に  
 りてはこれを判断する何等  
 かの善後策を講じなければ  
 ならないと思ふ、一營利會  
 社に別益を保護し數萬の需  
 用者の利害休戚を犠牲に供  
 すると云ふが如きは民衆政  
 治の眞諦に觸れた妥當なる  
 對策とは云はれない、田舎  
 の良民達は昔泣く子と

### 地頭には

最も公平  
 にこうした點を調査して運

### 御投書に就て

投書に就て二本松電氣會社  
 尚具體的激勵的投書を御願  
 申上げます、

### 現代世想の無情の世に

#### 仲屋女將の美談

#### 死として空前の葬儀

#### 新田町仲屋およね婆さんの死

拙をな點で新田町の人々か愛してゐた同家の三女たま  
 ら悼まれた仲屋のおよね婆さんの世話をした子の生活を  
 婆さんは遂に安らかに死の何くれとなくして来てゐた  
 眼に閉じた、  
 頼み甲斐なき現代世想の無  
 情！薄情な人々の横行する  
 今日、縁あらばこそ二十年  
 の長い年月を御主人大切と  
 仕へ、主人また五十六才よ  
 り二十年間の長き年月を落  
 葉の如き憐れなる生涯孤獨  
 な老婆を肉身の如くいつく  
 しき養育して来た事は實に  
 輕薄な此世に珍らしき美談  
 として誰れか感慨を得る  
 であらうか、  
 およね婆さんは嘉永五年生  
 れ、享年七十六歳其の長  
 命を壽ぐべきであるが、明  
 治四十五年に仲屋に來てか  
 百數十名の會葬者にて葬つ  
 ら今日まで主人大切に勤めた、平藝妓屋組合にては谷  
 た事から見ても他の範にする  
 口、玉川の兩幹事外一同相  
 に充分である、それと同時に  
 生涯孤獨であつた點とか一  
 女中の死として空前の  
 ら彼女の死を悼む者が多か  
 盛會であつた附近の人々  
 津町で獨身で菓子屋を營  
 んでゐた事もあるが商賣も  
 思ふ様でない所から平町に  
 來て仲屋に女中として住む  
 様になつた、爾來春秋風好  
 く天國に生活してゐるで

動を起すも如何なものでせ  
 うか、  
 動を起すも如何なものでせ  
 うか、  
 動を起すも如何なものでせ  
 うか、

# シーリクス



映畫を観るに中々味のあるものだ、本紙の副読に報じた、平館對有聲座の肉戰「砂繪呪縛」の勝敗はフアンの叫びも記者の豫測も事的中した、矢張大日活映畫平館には齒も立たず、敵は美事無慘なる敗北を見た、氣の毒の様だつた、流石常備軍平館は勝つて兜の緒を締めて續々巨篇傑作物を上映してゐる、去る二十日より本館に上映してゐる「流轉」これこそ記者の大好きなヤヤ帝都あたりでも河部五郎を添ぐ人氣者となつた「大河内傳次郎」の出世映畫だ、アノたまらない沈痛な表情で人生の苦闘をよく現はしてゐる、下賤の仲間からヒーソとした主の一言に翻然として武士となり三ヶ年の苦行の結果は人に裏切られ武士を呪ひ優獨特の左及縦横實に膽を冷す様なあざやかさを見せてゐる世話に劍戟に天稟の妙技を有する優の眞技を知らんとするフアンは此映畫こそ實に適當な映畫だ記者は云ひたひ此映畫をして涙も笑ひも共に人の心の奥底より泌み出る眞摯なる態度をもつて人の世の姿を赤裸々に描けるものである。

石城地方の紅葉の盛り夏井溪谷の盛りの關趾等が勿來の關趾等が

石城地方の紅葉...殊に秋の川前、勿來關趾等の紅葉は石城の数ある中に最も優れたもの、として世人に認められてゐるが、川前の紅葉は最早今年も秋深くなつた、今日此の頃だんだん深紅の色を増しこれから二週間の間は丁度見盛りで常盤木の間は眞紅に燃え立つ紅葉が映江岩をかんで流れる溪谷に姿をうつす自然の美を觀た時は詩人ならずとも「山間紅葉を焚いて酒を暖めたいやうな氣になつてゐる、

## 社告

本紙壹ヶ月購讀家族慰安大會愈々近日本館にて開催致します。

## 磐城新報社

誘はれる事であらう、川前村では觀楓客を優待すべく種々準備をなしてゐる、因に平驛發川前方面警越線汽車時刻は左の如くである。  
 午前五時四十五分(郡山着) 同八時十七分(小川郷着) 同九時二十五分(郡山着) 十一時四十五分(郡山着) 午後二時四十分(郡山着) 同五時十分 同七時五十分

## 祝發展

## スガノヤ

## 提灯店

平町四丁目 電話五二二番

# 山崎與三郎

# 木村清治

# 安島重三郎

# 金成通

# 石郡銀行組合

# 平藝妓屋組合

# 全山城屋商店

# 三藤香油

# 販賣部

平町四丁目電話一六二番

# 平運輸株式會社

●良品廉賣に優さる商略なし  
 ●價格最低 ●出荷迅速  
 平町五丁目

# 釜屋商店

和洋金物鐵屋  
 ●品質優良 ●在庫豊富  
 電話九番一三九番  
 ●現金取引は弊店の特色なり

# 藤沼醫院

内科・小兒科・花柳病科  
 【入院隨意】 平紺屋町五〇七番

# 西村屋藥舖

平町二丁目電話三番

# 高久病院

院長 高久忠  
 副院長 赤羽清  
 藥局長 佐竹菊雄  
 【入院隨意】 平町田町電話五二三番

# なんど

痔瘻。痔出血。裂痔。痒痔。痔核等に主効。但し脱肛には主効ありません。私の郷里の家傳藥であります、普通一般痔藥と全然主成分を異にしたる代表的痔藥であります。秋冬の悪化季に際し無代呈

磐城新報社

# 腸胃

内科 十二指腸虫病 (門專)  
 平町南町

# 松村病院

電話一〇七番

# 梅毒

外科 淋病 婦人病 包莖病 (門專)

# 和久井屋漆器店

平町一丁目電話四〇五番

# 磐城病院

内科、外科、婦人科 小兒科 花柳病科 入院應需 平町田町電話一一四番